## **Jクイックハンドボール** 講習会

2015. 5. 31 味の素ナショナルトレーニングセンター

日本ハンドボール協会 指導委員会 三輪一義

## 子どもの笑顔(喜び)

出来た嬉しさ勝った嬉しさ

## 我々は、今、何を目指すべきか?

**X** 2020 TOKYO

**2015 KYOTO** 

○ 2020~ JAPAN

我々は、今、何を目指すべきか?

# ②2020年以後の 日本のハンドボール

## 2015 小学校4年生(10歳)



2020 中学校3年生(15歳)



2025 大学2年生(20歳)

2015 京都全国大会のゲーム様相は多少変わる (あまり変わらないことも想定される)



## 2020 中学校3年生(15歳)



2025 大学2年生 (20歳)

2015 京都全国大会のゲーム様相は多少変わる (あまり変わらないことも想定される)



2020 JOC全国大会のゲーム戦術が大きく変わる (少なくとも個人判断能力は格段にアップ)



## 2025 大学2年生 (20歳)

## 2015 京都全国大会のゲーム様相は多少変わる (あまり変わらないことも想定される)



2020 JOC全国大会のゲーム戦術が大きく変わる (少なくとも個人判断能力は格段にアップ)



2025 日本代表の基礎能力(個人技術・戦術理解力・思考判断力)が2015とは比較できないほど 高くなっている

### 2015 U-12ゲーム様式

今、なぜ?

### なぜ 変えるのか

日本が世界で勝つためには

判断力•想像力

トータルモビリティー (総合的機動力)

ヨーロッパでの育成法

総合的機動力 判断力

少年期のトレーニング

練習:ゲーム的要素をふんだんに取り入れた練習

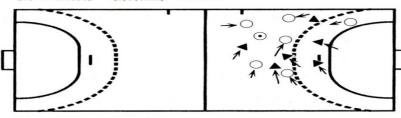
大会:練習成果を確認する大会

全国大会のゲーム様式を変える = 普段の練習方法を変える

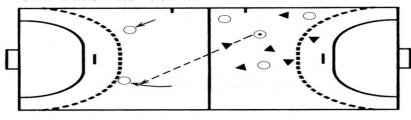
### ゲームの発達段階

#### ❖試合様相の分類とその特徴❖

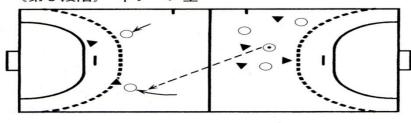
#### 《第1段階》 密集型/だんご



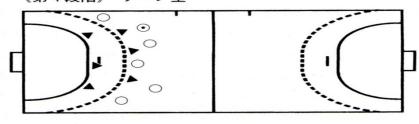
《第2段階》 飛び出し型



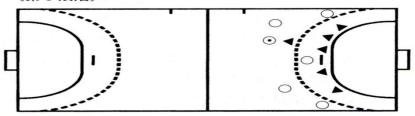
《第3段階》 半ゾーン型



《第4段階》 ゾーン型

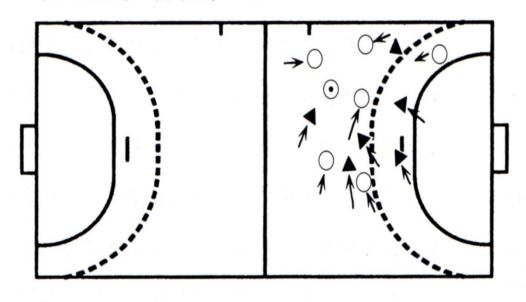


《第5段階》



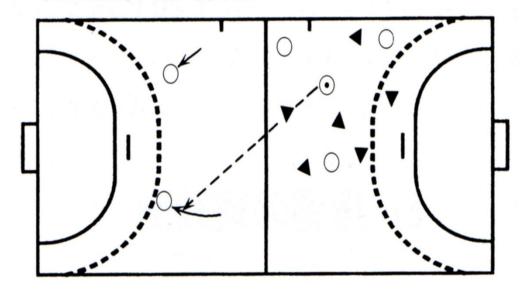
- 1. ボールを中心に攻撃と防御が入り乱れる。
- 2. 短いパスが前後左右になされ、ボール はあまり前進しない。
- 3. ボール保持者のドリブルミス,パスミスが多い。
- 4. シュートはまれで得点は少ない。
- 1. 密集から飛び出す者が現れ,ボールは 前進するが,ロングパスのためパスミス, キャッチミスが多く見られる。
- 2. シュート数が増加し、得点も増す。
- 3. 2~3人のみが直接攻撃に参加している。
- 1. ボールに密集するグループと速攻に対応した防御グループ (ゾーン) に分かれる。
- 2. 攻撃終了後直ちに自陣に戻り,ゾーン ディフェンスを行う者があり,得点力は 減少する。
- 3. 攻撃地域(相手コート)へはスムーズ にボールが進む。
- ディフェンスはゾーンで壁を作るが、 ポジションは一定しない。
- 2.  $2 \sim 3$  人が意識してユニットプレーを 行っている。
- 3. 得点にしめる速攻の割合が高い。
- 1. 全員が直接攻防に参加している。
- 2. ディフェンスは各自が自分の防御地域を役割分担して守れる。
- 3. セットオフェンス (遅攻) による得点 が徐々に増加してくる。

#### 《第1段階》 密集型/だんご



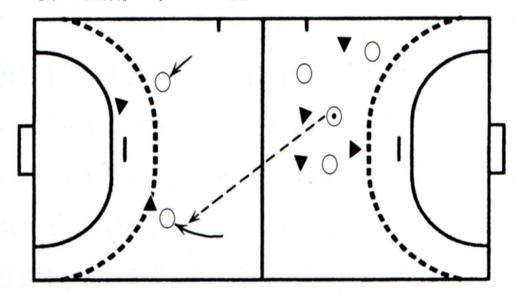
- 1. ボールを中心に攻撃と防御が入り乱れる。
- 2. 短いパスが前後左右になされ、ボールはあまり前進しない。
- 3. ボール保持者のドリブルミス, パスミスが多い。
- 4. シュートはまれで得点は少ない。

《第2段階》 飛び出し型



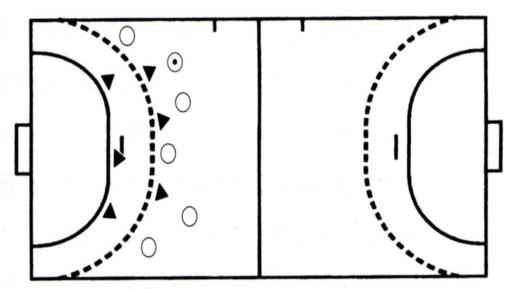
- 1. 密集から飛び出す者が現れ、ボールは 前進するが、ロングパスのためパスミス、 キャッチミスが多く見られる。
- 2. シュート数が増加し、得点も増す。
- 3. 2~3人のみが直接攻撃に参加している。

#### 《第3段階》 半ゾーン型



- 1. ボールに密集するグループと速攻に対応した防御グループ (ゾーン) に分かれる。
- 2. 攻撃終了後直ちに自陣に戻り、ゾーン ディフェンスを行う者があり、得点力は 減少する。
- 3. 攻撃地域 (相手コート) へはスムーズ にボールが進む。

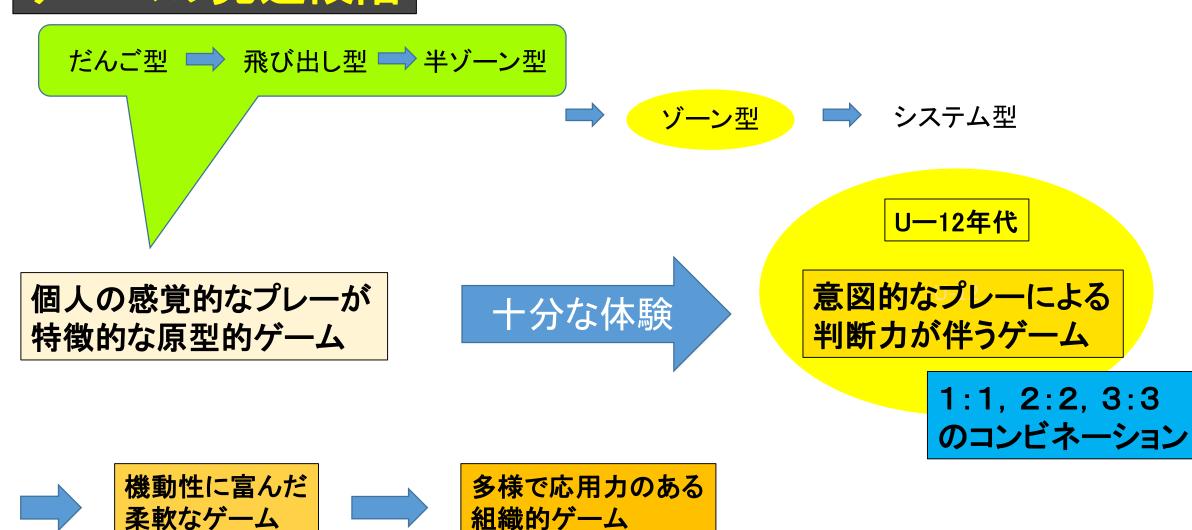
《第4段階》 ゾーン型



- 1. ディフェンスはゾーンで壁を作るが、 ポジションは一定しない。
- 2. 2~3人が意識してユニットプレーを 行っている。
- 3. 得点にしめる速攻の割合が高い。

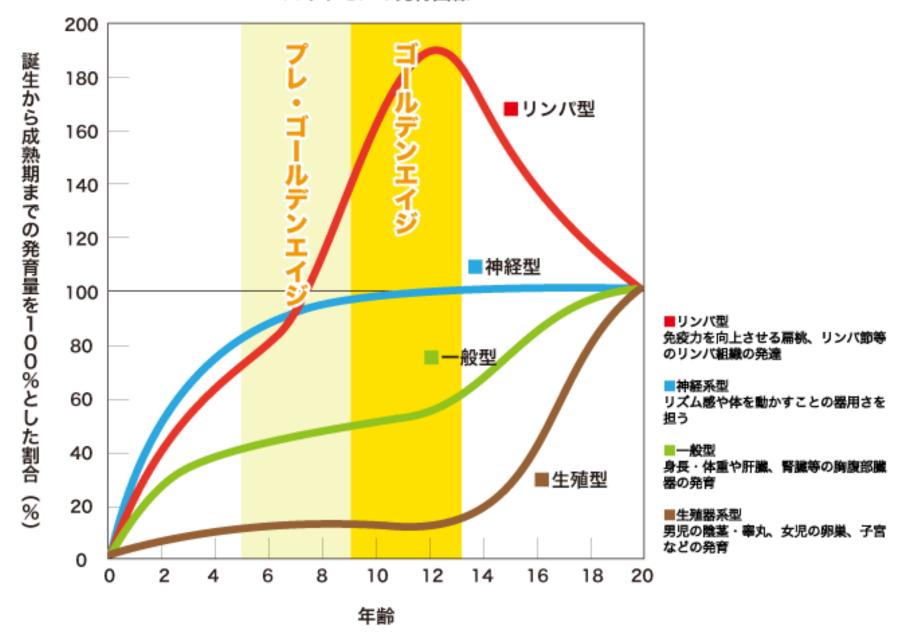
### ゲームの発達段階

U-13~15年代



U-16年代~

#### スキャモンの発育曲線



子どもの笑顔(喜び)

出来た嬉しさ

勝った嬉しさ

子どもの笑顔(喜び)

いま、出来た嬉しさいま、勝った嬉しさ

子どもの笑顔(喜び)

将来、出来る嬉しさ将来、勝てる嬉しさ

### ハンガリーにおけるハンドボールの 一貫指導プログラム

#### 小学生段階で身につけさせたい要素とプレースキル

走・跳・投そろった運動能力

判断力 · 創造力

仲間との連携

広がりや奥行きの感覚

的確で速い状況把握と判断力

正確なパスキャッチ

フットワーク(多様な足さばき)

求められる選手像

間断のない攻防の切り替えに 対処できる身体さばき

動きながらの的確な判断・正確な技術

### ゲーム様式

10・(5)・10・(5)・10分 三セット

シャトルラン(実質24メートル反復走)

キーパースローからのスタート

間断の無い攻防

視野の広さ、動きながらの正確な技術

オープンディフェスの採用

積極的な防御

ボールを奪って攻める

防御とは、ボールを獲得するために行う

個の力を高める(防御力ともに攻撃力も)

### 新ルールのねらい

基本的なDF

足を使った OpenDFの徹底

基本的なOF

空いているところ を攻める習慣付け

空けたところ を攻める習慣付け 寧

### オープンDF導入のための練習法

You Tube 日本ハンドボール協会指導委員会

### オープンDF導入のための練習法

You Tube 日本ハンドボール協会指導委員会

- •NTS2004 ジュニアハンドボールの基本 U-12
- •NTS2006 ジュニアハンドボールの基本 U-12
- NTS2009 個人スキルトレーニング金・銀・銅 U-12
- •2014トップコーチセミナー東京会場(フェルドマン)
- •2015トップコーチセミナー(モチャイ)

### NTS2009個人スキルトレーニング金銀銅



## NTS2009

#### U-12 TRAINING

~目指せ!オリンピックへの道~ 個人スキルトレーニング 金・銀・銅

#### 解説紙

(財)日本ハンドボール協会

この資料作成にあたっては、財団法人大崎企業スポーツ 事業研究助成財団の援助を受けています

#### ハンドボール個人スキル Bronze メダル

20. ハンドバランス

ハンドボール個人スキル <b>Bronze メダル</b>						
<u>バスキャッチ</u> 1. 壁パスキャッチ (両手、ステップ)	連続10回	両手で壁にボールを投げる。キャッチは両手で行う。 片手で壁にボールを投げる。3歩使って行う。肩・肘の角度に注意する。				
2. ランニング壁パス	連続10回	壁から1m離して、2mの距離にコーンを置く。 ランニング or サイドステップで、タイミングよくターンする。				
3. 仰向け直上パス	連続5回	寝た状態から肘・手首を柔らかく使って、天井方向にボールを投げ上げる。 ボールの高さは自分の身長以上を目安とする。				
4. 三角パスキャッチ	4周(左•右)	10mの距離を取り、ノーマルパス、右足前パス、非利き腕パス、で行う。 左回りの右足前パスは、足を踏み換えることなく素早いパスが狙いである。				
5. 三角ブッシュパス	4周(左·右)	6mの距離を取って、押し出すようなワンパウンドパスを投げる。 ポストやサイドへのパスをイメージさせて行う。				
<u>ディフェンス動作</u> 6. 三角サイドステップ	5周(左・右)	タイム等を計ってもよい。ハンドアップは重要な Good Habit である。				
7. ドリブルカット		ドリブルブレーヤーの右側から左手でスチールを試みる。 相手の手ではなく、あくまでもボールを狙う。				
8. ステップシュートカット		目をつぶらず、ボールのコースに壁をつくる。				
<b>フェイント助作</b> 9. フェイントシュート		両足ストップから左右両側にフェイントしてシュート。				
10. ステップシュートフェイント		自分の利き腕側で腕を振り切り、逆側で利き腕ドリブルし、 DFを背中でかわして、シュートする。				
11. フェイントからバウンドパス		両足ストップからポストヘバウンドブッシュパスをする。 ポストはDFに対して"勝ちの位置"で待つ。				
<u>シュート動作</u> 12. ステップシュート (オーパー、サイド、	アンダー)	手の出る方向は斜め・横・下と様々な角度から出すようにする。				
13. ツーステップジャンプシュート		通常のシュート練習は2歩ジャンプを基本とする。				
14. ランニングシュート		利き腕側の足を前に出しながらスローを開始する。				
受け身動作 15. ロッキングチェアー(前方受け身	30	膝立ち姿勢から前方に倒れる。顔が地面に近づく恐怖感になれる。				
16. カタツムリ (後方受け身)	連続3回	股下からボールを転がし、後ろに回転してボールを頭上で取る。				
17. ワニ (側方受け身)	交互に3回	腕立て状態からサイドに転がる。				
<u>ハンドリング</u> 18. レッグスルー	20m	歩きながらドリブルをして股下に後ろからボールを通す。				
19. 頭上パス	連続10回	肘を曲げずに腕全体で、力を加減して投げる。				

手の甲にポールを乗せて20m歩く。

#### ハンドボール個人スキル Silver メダル

パスキャッチ 1. ランニング片手壁パス

2. 三角パスキャッチ

3. プッシュパス

ディフェンス動作 4. 待ち受けドリブルカット 5. ジャンプシュートカット

6. 腕クッション防御

フェイント動作 7. 背面回転フェイント 8. ノーボールフェイント

<u>シュート動作</u> 9. ワンステップジャンプシュート

10. 逆足ジャンプシュート

受け身動作 12. バックローディング 13. スライディングモーション

14. フロントローリング

16. 身体前後でのパス&キャッチ

身体を大きく反って、頭後ろからスピンを掛けて、股下を通す。

ハンドリング

17. スピンシュート

18. 股下スピン

11. 両足ジャンプシュート(ポスト)

(逆足ジャンプ) (両足ジャンプ)

(ポストプレーヤー(こ)

l <u>ver メダル</u>		ハンドボール個人スキル <b>Gold メダル</b>		
		パスキャッチ		
連続10回	鋼メダルの「ランニング壁パス」を片手キャッチで行う。 左右交互の手でパス&キャッチをする。	1. バックステップパス	5往復	パサーに対して、狐を描くように半円の動きをする。 シュートを狙ってパスを出し、素早くパックステップで位置取りを変え、 前へ出ながらキャッチをする。
4周(左・右)	10mの距離を取り、ジャンプパスを伴って行う。2歩でジャンプする。	2. バックパス	10往復	2名で3m離れ、平行に反対方向に立つ。同方向に3ステップで動きながら
4周(左·右)	逆足ジャンプで行う。			身体の後側からパス。その際、腕は身体と平行に振る。 パウンドパスにもチャレンジする。
4周(左·右)	踏み込んで両足ジャンプで行う。	3. バックバウンドパス	50	左バックコートブレーヤーとサイドブレーヤーの位置関係に立ち、 サイドにワンパウンドでパスを出す。
10往復	2名で3m離れ、平行に反対方向に立つ。同方向に3ステップで動きながら 正確に取りやすいパスを、方向を変えて左右両方の手で行う。			がすたにソンパソントといえを出す。 (左利きは右バックコートブレーヤー側で行う)
	止煙に取りや9 いい人で。方向で変えくな石両カツチで行う。	4. 三角パス (走る方向と逆へパス) (中心部で手渡しパス)	10周	進む方向と反対側へパスをする。キャッチ後は素早く身体を反転させる。 中心部で弧を描くように走りながら、手渡してパスを素早く行う。
連続2回	向かってくる相手に対して、タイミングを計ってポールをスチールする。	5. 速攻リードパス	3回連続	速攻場面において、人ではなく、前方の空間に向けて、味方を走らせる
連続2回	ジャンプシュートのシュートカットをする。			ように柔らかいパスを出す。
<b>E</b> )	腕を胸の前でバネのように使って、相手を指定エリア内に進入させない。 攻撃側は背中を向けた状態(ポストブレーヤー)でスタートする。	<u>ディフェンス動作</u> 6. 追いかけドリブルカット		シューターを追いかけながら、タイミングを計ってドリブルカットする。
		7. 腕クッション防御 (パックプレーヤー	E)	腕を胸の前でバネのように使って、相手を指定エリア内に進入させない。 攻撃側は前を向いた状態でスタートする。
	両足ストップから利き腕と反対側に背中から回転してかわしてシュート。	8. パスカット		自分のマーク or 他人のマークに対し、飛び出してパスカットを狙う 先取り防御の動きを身につける。
	ボールと反対側方向にフェイントし、方向を変えながらボールをキャッチし、 シュートする。左右両方で行う。			元以り切録の動きを好につける。
		<u>フェイント動作</u> 9. ジャンプフェイントシュート		シュートジャンプから着地の途中でドリブルし、再びシュートする。
	ボールをキャッチしてから1歩でジャンブしてシュートする。	10. 回旋フェイント		両足ストップからDFの頭上で高く利き腕を回し、同時に右足を DFの脇に交差するように出し、抜け出る。
	逆足でジャンプシュートする。	11. たてブロック		タイミングを合わせて、ディフェンスの進行方向を妨げる位置に立ち、 ボールをキャッチ後にシュート。
	ポストプレーにおいて、踏み込んだあと両足ジャンプシュートをする。			ホールをキャップ 致に ノユード。
		<u>シュート動作</u> 12. 両足ジャンプシュート(ミドル)		バックブレーヤーとして、走り込んできたあと両足ジャンプシュートをする。
	後方回転での受け身を、左右の肩を使ってゆっくり行う。	13. スカイプレーシュート		タイミング良くジャンプ・キャッチをして、空中でシュートする。
	両手を添えて腹胸部から飛び込みスライディングをする。 直後には手を浮かせる。着地後はあごを上げる。	<b>受け身動作</b> 14. スライディング		シュート後、そのまま前方に飛び込み、手を添えて腹胸部で着地する。
	ななめ前方回転を左肩と右肩から行う。	14. 2017127		胸ですべりながら手を浮かす。
		15. バックローディング		ジャンプシュート後に、後方回転で受け身を取る。
20m	歩きながらドリブルをして、背中からボールを通して前にドリブルする。	ハンドリング		
連続5回	歩きながら(慣れたらゆっくり走りながら)、身体の前から後ろ、	<u>16.</u> 両手ドリブル	10秒間	2つのボールを両手でドリブルする。交互にドリブルすることで上手くいく。 できる場合には、10mのドリブル移動に挑戦する。
連続2回	後ろから前へバス。歩くスピードに合わせて上手くキャッチする。 6mラインのエンドライン上に立ち、ひねりを加えてワンパウンドでゴールへ。	17. ハンドローリング	左右前後 1回ずつ	ボールが手の甲を転がるように軽く投げて、一周後に再びつかむ。 左右転がしと前後転がしを行う。

18. 逆スピンシュート

19. 地球儀

エンドライン上に立ち、逆のひねりを加えてワンパウンドでコールへ。

ボールを駒のように指先で回転させる。